

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2022-01-01

No. 138



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-3-2 Ed.5.0(2020-07) 修正 1: 高調波電流エミッションの限度値.....	3
IEC: 新規格リスト.....	8
ISO: 新規格リスト.....	11
UNECE: 自動レーンキーピングシステム(ALKS)国連規制がトラック、バス等に拡大.....	11
UNECE: 1958 年協定附属 UN 規制: 最近発行された規制のリスト.....	12
国際テーマ: IEC,ISO,ITU: 地球の気候を守るために規格と適合性評価の役割が重要に.....	14
国際テーマ: EU: USB-C 充電が欧州の標準に.....	14
国際テーマ: RoHS 要求事項を満たすための新しい欧州整合規格.....	15
国際テーマ: ベトナムの無線機器規制の最新情報.....	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	16

USA: FCC: KDB: Part 2: TCB の機器認可前に FCC ガイダンスが必要なデバイスとは?.....	17
USA: FCC: KDB: Part 1: 適用免除取得後の機器認可申請を完了するための要求事項は?.....	17
USA: FCC: KDB: Part 1,2: モバイル機器とポータブル機器の RF 曝露の要件と手順は?.....	18
USA: FDA: 機器と偽造機器という用語の言及を明確にするためのドラフトガイダンス.....	19
USA: FDA: 1997 年米国食品医薬品局近代化法: 認知規格リストの変更.....	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	20
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	21
USA: IEEE: 新規格リスト.....	22
カナダ: RSS-248 - 5925~7125 MHz 帯無線ローカルエリアネットワーク機器 仕様発行.....	22

EU: 低電圧指令 LVD 整合規格: 家庭用電気機器、レーザー製品などに関連する変更.....	25
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	25
EU: ETSI: 新規格リスト.....	30

中国: SAMR: グリーン製品評価規格リストおよび認証カタログ (第三次) の公開.....	31
中国: CQC: スイッチング電源用変圧器の安全認証規則の改正に関する通知.....	31
中国: CQC: マルチコネクテッドエアコン製品の省エネ認証への新規則・規格の実施.....	32
中国: CQC: 業務用 IH クッキングヒーター製品の省エネ認証に新版規則等を実施.....	32
中国: 新規格リスト.....	33
台湾: 經濟部エネルギー局公告: 修正「インテリジェント高効率照明システム技術規範」.....	35
台湾: 「冷凍庫 (箱) の省エネラベルのエネルギー効率基準とラベリング方法」を制定.....	35
台湾: 新規格リスト.....	36
韓国: RRA: 電磁波強度測定基準告示の改正.....	37
韓国: RRA: 高出力・漏れ電磁波安全性評価基準及び方法等に関する告示.....	37
韓国: RRA: インターネットマルチメディア放送事業の電気通信設備に関する技術基準.....	37
韓国: KATS: 電気用品安全基準 (62 種) 廃止告示/ KC CISPR 11、KC CISPR 13 等.....	38

総務省: 電波利用環境委員会報告(案): CISPR16-1-2, CISPR16-2-1, 同 16-2-3 の国内規格.....	39
総務省: 2.3 GHz 帯における 5G の普及のための周波数の割当てに関する意見募集.....	40
総務省: 電波法施行規則等の一部改正省令案等: Ku 帯非静止衛星通信システムの導入.....	40
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正しました (2021 年 12 月分).....	41
経済産業省: 第 35 回 総合資源エネルギー調査会: 再エネ出力制御の低減に向けた取組.....	41
経済産業省: 「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」の創設.....	43
国土交通省: トヨタ「カローラ/カローラ ツーリング」がファイブスター賞を受賞!.....	44
国土交通省: 運転者のいない「レベル 4」自動運転を実現するため: 22 年度始動へ法整備.....	44

ちょっといっぴく〜小クイズコーナー IEC/IEEE 82079-1 の対象となる製品の範囲.....	16
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	24
社長の独り言.....	45

IEC: 規格解説: IEC 61000-3-2 Ed.5.0(2020-07) 修正 1: 高調波電流エミッションの限度値

- 「IEC 61000-3-2 Ed.5.0 (2020-07) 修正 1 電磁両立性(EMC)ーパート 3 - 2: 限度値 - 高調波電流エミッションの限度値(機器入力電流: 1 相あたり 16A 以下)」の内容、及び 2021-08-27 付発行の解釈シート(SH1:2021)について紹介する。
- 1 適用範囲
ここでは、アーク溶接機器に関しての明確化が行われた、即ち「1 相あたり最大 16 A の定格入力電流を持つアーク溶接機器は、本文書の範囲に含まれる。他のすべてのアーク溶接機器は、IEC 60974-1 に規定されるものだけでなく、本文書の範囲から除外される:
- 6 一般要求事項の 6.2 制御方法
ここでは、全テキストが新テキストに置き換えられ、いくつかの新規定が導入された、即ち: 制御方法について非対称制御と半波整流が許可される場合があることを規定しているがその場合であっても、機器は本文書の高調波要件に準拠している必要があると規定。 ----- 等々。

UNECE: 自動レーンキーピングシステム(ALKS)国連規制がトラック、バス等に拡大

- 車両規制の調和のための世界フォーラム(WP.29)は、本 ALKS に関する国連規制の改正を採択した。このステップは、道路上の大型車両にいわゆる「レベル 3」の車両自動化を導入するための最初の拘束力のある国際規制が採択されたことを意味する。

USA: FCC: KDB: Part 1,2: モバイル機器とポータブル機器の RF 曝露の要件と手順は?

- モバイル機器とポータブル機器の RF 曝露と機器認可の要件は、47 CFR セクション 1.1307、2.1091 と 2.1093 に定められている。
- 付属資料「447498 D04 暫定一般 RF 曝露ガイダンス」は、暫定手順に基づくガイダンスである。

EU: 低電圧指令 LVD 整合規格: 家庭用電気機器、レーザー製品などに関連する変更

- 12 月 21 日付けの欧州官報にて、低電圧指令 LVD の整合規格に関する実施決定を修正する委員会実施決定(EU) 2021/2273 が公示された。家庭用電気機器、レーザー製品などに関連して、委員会実施決定(EU) 2019/1956 を修正するもの。

総務省: 電波利用環境委員会報告(案): CISPR16-1-2, CISPR16-2-1, CISPR 16-2-3 の国内規格

- IEC/CISPR に於ける国際規格 3 規格: CISPR 16-1-2、CISPR 16-2-1、CISPR 16-2-3 を国内規格として採用する場合のものの規格からの要変更点が検討された。本報告案文書にその変更点がまとめられており、全文も記載されている。

国土交通省: 運転者のいない「レベル 4」自動運転を実現するため: 22 年度始動へ法整備

社長の独り言

2022 年 1 月 1 日

濱口 慶一

皆様、新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの状況がまだまだ油断の出来ない中で新年を迎えることになりましたが、大事なくお過ごしと祈念します。弊社も何とか感染者が出ずに新年を迎えました。皆様のお手伝いができるように、全社員一丸となって業務に邁進しますので、変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以前にお伝えしましたが、弊社も世代交代の時期になっています。昨年 12 月には次男の濱口総志が株主総会での承認を経て、取締役副社長として就任したのでご報告します。彼は製品安全と IT セキュリティを担当してきました。めでたく博士号を取得してくれたこともあり、弊社の次世代責任者として経営を引き継いでくれるものと期待しています。常に、一にも二にもお客様を大切にすることを忘れないで欲しいと思います。副社長にはまず半年ほど私に付いて学んでもらい、その後は副社長と幹部達に任せ、3 年ほどで承継していこうと計画しています。

これから南海トラフ地震も心配されますが、内閣府発行の事業継続ガイドラインを参考に、お客様あるいは私どもが震災の被害を受けても、お客様から依頼いただいた業務を支障なく継続できるように、震災後最長 4 時間（半日以内）で業務が立ち上げられるよう、インフラの構築に入ります。サーバーを多重化して、お客様の大切なデータが漏洩しない（社内専用のクローズドシステムですので漏洩は生じないと考えています）ことはもちろん、PC さえあればお客様への対応がどこからでも対応できるシステムへ変更していきます。ご意見などいただければ幸いです。

長岡科技大の後期も何とか終わられそうですが、多くの課題が出されてこなすのに精一杯で、無事進級できるのか、少し不安です。2 年のうち、1 年で卒業に必要な単位をほとんど取得して、後は修士論文作成にかかろうという目論みに若干狂いが生じており、今年は忙しい年になりそうです。授業を振り返ると、システム安全科でどうして企業倫理、技術者倫理、企業コンプライアンスに会社法など、平素あまり関係ないと考えていた科目があるのかと思っていましたが、会社のシステム、経営で大きなリスクにならないようにするための教育のようです。はじめは目を丸くしていたのですが、将来起業する計画のある方は、それまでに企業倫理や会社法などについてぜひ勉強してみてください。勉強することがこんなに楽しいものであるとは、気づくのが少し遅かったとも思っていますが、残りの授業を楽しみにしたいと思います。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2022-01-01 (No. 138)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉口光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2022 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。